速報
東京新聞 東京中日スポーツ

藤井四段 28連勝

将棋 歴代最多タイ

将棋の最年少棋士、藤井聡太四段（一四）は二十一日、大阪市の関西将棋会館で指された王将戦一次予選で澤田真吾六段（二五）を破り、公式戦連勝記録で歴代最多の神谷広志八段（五六）に並ぶ二十八連勝を三十年ぶりに達成した。

二十八連勝は将棋界の大記録の一つとされ、神谷八段が一九八七年に樹立した。昨年十二月のプロデビュー以来、連勝を続ける中学生棋士が無敗のまま、快挙を成し遂げた。

愛知県瀬戸市在住の中学三年生。昨年十月、最年少の十四歳二カ月でプロ入り。現役最高齢の記録を持つ加藤一二三（ひふみ）・九段（七七）が持っていた十四歳七カ月の最年少記録を六十二年ぶりに塗り替えた。

新記録が懸かる次回の対局は二十六日、竜王戦決勝トーナメントで、ホープの増田康宏四段（一九）と対戦する。

藤井聡太四段（日本将棋連盟提供）

2017年6月21日発行

ご購読のお申し込みは 0120-026-999 http://www.tokyo-np.co.jp/